

# かわきた



橘子供獅子舞

- 9月議会定例会 .....P2
- 平成29年度決算の認定 .....P4
- 委員会審議Q&A.....P6
- 町政を問う（いっぱん質問）…P8

# 9月議会定例会 6日～19日

平成30年第5回(9月)議会定例会では、平成29年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算の認定が7件、平成29年度工業水道事業会計の歳入歳出決算の認定が1件、平成30年度一般会計補正予算の専決処分の報告が1件、平成30年度一般会計・特別会計補正予算が4件、財産の購入契約が1件、人事案件が2件の合わせて16件が上程されました。

議案は、各常任委員会で審査され、すべて原案通り全員賛成で可決しました。

## 教育長に室谷氏・教育委員に藤原氏が再任

### 報告

○一般会計補正予算の専決処分の報告並びに承認

・じゃぶじゃぶ池(川北まつりのアユのつかみ取り会場)と川北小学校前の消雪用(町民プールと供用)の水中ポンプの老朽化に伴う改修

### 平成30年度補正予算

○一般会計

○補正額 1千380万円

○予算累計

37億6千430万円

○特別会計

○補正額 856万8千円

○予算累計

12億5千856万8千円

### 一般会計(主なもの)

○総務費

・住民に密着した情報や各種施策などを取りまとめた冊子(暮らしの便利帳)の作成費用に135万円

○民生費

・ふれあい健康センターの空調設備の改修費に635万5千円  
・児童の読書活動の活性化を図るため、各児童館への児童図書と書架の購入費に120万円

○土木費

・国・県の制度改正により、既存建築物耐震改修工事補助金に80万円を追加

○教育費

・中学校の県大会・北信越大会への出場助成に145万7千円  
・橘小学校の屋内消火栓ポンプ修繕工事や、各小・中学校で実施されるエネルギー教育推進事業などに、263万8千円

## 人事

○川北町教育長任命につき同意を求めることについて

川北町教育長

室谷 敏彦 氏(草深)



平成30年9月30日で任期が満了となる室谷敏彦氏を再任すること、全員の賛成で同意。

○川北町教育委員会委員任命につき同意を求めることについて

川北町教育委員会 委員

藤原 慶勝 氏(吉ッ屋)



平成30年10月23日で任期が満了となる藤原慶勝氏を再任すること、全員の賛成で同意。

## 特別会計(主なもの)

○国民健康保険

○介護保険事業

・平成29年度の精算に伴う、交付金などの返還金

○後期高齢者医療特別会計

・保険料軽減特別の見直しに伴うシステム改修費に75万6千円

## 財産の購入

○財産の購入契約

・川北温泉の2号源泉の予備ポンプ購入に1千473万1千200円



## 視察

～東部地区工業団地造成地を視察～

総務産業常任委員会

9月7日(金)、三反田地内にある東部地区工業団地の造成地で、視察研修会が開催されました。

堤防上より造成地の全景を確認した後、工事現場内において工事担当者の説明を受け、質疑応答を通じて、工業団地造成の規模や工程などを確認しました。



## 聴

～女性協議会と意見交換～

議会運営委員会

9月25日(火)、町女性協議会役員と議会運営委員・議会改革推進委員との意見交換会が、文化センターにて開催されました。

自己紹介の後、町内の公共交通、シルバー人材の活用、町の行事などのテーマに沿った内容で、様々な意見を聞くことが出来ました。



NEXT

平成29年度決算の認定

# 的に使われたか 町の家計簿の検証

**歳出 36億9,572万円**

**歳入……前年度比 0.4% 増**

歳入では、前年度比0.4%（1,418万円）増となりました。

歳入全体の36.9%を占める町税は、前年度比、5.3%（8,025万円）減となりました。この主な要因としては、固定資産税（償却資産分）の減少などがあげられます。

また、自主財源の比率は、歳入全体の53.5%となりました。これは寄附金の大幅な増加や町債の大幅な減少によるものです。

**歳出……前年度比 1.0% 減**

歳出では、前年度比1.0%（3,861万円）減となりました。

歳出全体の27.0%を占めるのは、住民福祉の経費である民生費、続いて総務費15.5%の順となっています。主な事業としては、川北町児童館増築等改修事業（9,446万円）、農村総合整備事業（1億1,015万円）、サンアリーナ川北改修事業（1,335万円）、町道等整備事業（8,504万円）などです。

※実質収支 2億2,372万円

翌年度へ繰越すべき財源 169万円

## 一般会計歳入・歳出決算状況表

（単位：万円）

歳 入		前年度比	構成比	歳 出		前年度比	構成比
町 税	144,718	△5.3%	36.9%	議 会 費	6,982	△0.5%	1.9%
地 方 譲 与 税	2,015	△0.5%	0.5%	総 務 費	57,310	1.7%	15.5%
そ の 他 交 付 金	26,771	78.6%	6.8%	民 生 費	99,828	△2.1%	27.0%
地 方 交 付 税	84,559	20.1%	21.6%	衛 生 費	45,570	△1.6%	12.3%
分担金及び負担金	7,137	6.5%	1.8%	農 林 水 産 業 費	29,473	20.5%	8.0%
使用料及び手数料	13,154	△3.7%	3.4%	商 工 費	5,012	△66.5%	1.4%
国・県支出金	51,682	△22.5%	13.2%	土 木 費	33,776	110.1%	9.1%
繰越金、繰入金など	17,262	16.5%	4.4%	消 防 費	13,218	△63.4%	3.6%
諸 収 入	16,255	27.3%	4.1%	教 育 費	27,055	0.1%	7.3%
町 債（借入金）	28,560	△20.4%	7.3%	公債費（借入金の返済）	51,348	19.0%	13.9%
歳 入 合 計	392,113	0.4%	100.0%	歳 出 合 計	369,572	△1.0%	100.0%

# 平成 29 年度決算の認定 税金は効率

## 一般会計

歳入 39億2,113万円

### ハード(主なもの)

- 川北町児童館増築等改修事業
- 町道等整備事業
- サンアリーナ川北改修事業
- 農村総合整備事業  
(三反田営農飲雑用水施設)



### ソフト(主なもの)

- 病児保育料助成
- ファミリーサポートセンター利用料助成
- 児童館環境改善事業
- 外国語指導助手(ALT)の招聘
- オンラインスピーキングトレーニングの実施
- ふるさと納税事業
- 不妊・不育症治療給与金
- 第3子以降の保育料の無料化
- 短期人間ドック助成事業
- 各種予防接種費用の助成事業
- 経営転換協力金事業
- 自主防災組織活動助成事業
- 中小企業設備投資促進補助事業
- 創業・起業地域活性化事業

## 特別会計

### 国民健康保険

歳入	5億9,664万円
歳出	5億8,351万円
差引	1,313万円

### 介護保険事業

歳入	4億9,409万円
歳出	4億8,028万円
差引	1,381万円

### 簡易水道事業

歳入	2,621万円
歳出	2,553万円
差引	68万円

### 介護保険サービス事業

歳入	5,736万円
歳出	5,545万円
差引	191万円

### 農業集落排水事業

歳入	1億1,778万円
歳出	1億1,167万円
差引	611万円

### 後期高齢者医療

歳入	5,820万円
歳出	5,730万円
差引	90万円

## 企業会計

### 工業用水道事業会計

○収益的収支		○資本的収支	
歳入	3,840万円	歳入	13,636万円
歳出	2,801万円	歳出	13,636万円
差引	1,039万円	差引	0万円

## 決算監査

平成29年度には、福祉基金への積立てや町債の繰上償還を実施するなど、将来にわたる財政負担の軽減を見据えた取り組みが見られた。

また、町民のニーズと社会情勢の変化に対応した的確な事業が、計画通り執行されていることが認められた。

今後も行財政改革や財政の健全化を図り、町民が「住んでよかった」を実感できる活力ある行政運営を期待したい。

監査委員 吉野外明・坂井 毅

NEXT

委員会審議Q & A

# 委員会審議

主なもの

## Q & A

### 総務産業常任委員会

**Q** 消雪ポンプ改修工事に関連して、改修の際にその現状を把握しておかないと、地区からのポンプ交換の要望に対応できないのではないかと。

**A** 昨年は、緊急的に与九郎島地区の消雪ポンプを改修しました。各地区からは、消雪水の散水量低下や、管路の延長などといった話もあるので、除雪計画の見直しに際し、除雪についてのアンケート結果などを反映させたいと考えています。

**Q** 除雪機の補助金申請が出ている地区数は。

**A** 3地区より申請が出ており、機械は発注から納品までに、最低4ヶ月はかかるようです。



**Q** じゃぶじゃぶ池水中ポンプ改修工事について、ポンプの設置はいつごろか。

**A** 設置時期は、水辺の築校整備が行われた平成5年です。今回、電気系統の故障により、川北まつりの開催の前に改修しました。

**Q** じゃぶじゃぶ池水中ポンプ改修工事について、そのポンプの性能は。

**A** じゃぶじゃぶ池水中ポンプは、口径が125mm、15KWで、吉ッ屋の消雪用ポンプについては、口径が100mm、11KWとなり、いづれも揚水管は20mほどとなります。

**Q** 上田子島地区の防火水槽の整備については、なぜ移設することになったのか。

**A** 地区からの要望により、私有地内の同施設を公有地の道路下へ移設するものです。

**Q** 上田子島地区の防火水槽の整備に伴う地元負担については。

**A** 事業費のうち、2割が地元負担となっています。

**Q** 既存建築物耐震改修工事補助金について、助成の上限額は。

**A** 国・県・町の助成金をあわせると上限150万円になります。

### 決算審査会

**Q** ふるさと納税(返礼を伴う寄附金)について、その件数と金額は。

**A** 昨年9月からの実施で、91件で金額は208万5千円でした。

**Q** 県道事業負担金とは何に對しての負担金なのか。また、この先も継続するのか。

**A** 県道事業(加賀海浜産業道路)の負担金であり、用地買収等全ての事業に対して、負担率は10%で、この先も継続します。

**Q** 公有財産購入費の用地取得費とは。

**A** 三反田地区の営農飲雑用水施設の敷地購入費用です。

**Q** 地方公会計支援業務委託料とは。また、次年度以降も発生するのか。

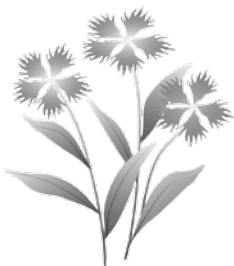
**A** 公会計を実施するためのシステムなどの整備を行っており、次年度以降もシステムの保守などの業務が発生します。

**Q** 創業・起業地域活性化事業費補助金については。

**A** 商工会に加入し、事業主が町内在住の移住者であることが、前提条件となります。

**Q** 町有害鳥獣捕獲隊編成負担金については。

**A** 小松・能美地区に捕獲隊があり、その協議会への負担金となります。



## 教育民生常任委員会

Q 「暮らしの便利帳」とは、どのようなものか。

A 町民の皆さんに、町の制度の周知を図られるよう、冊子にまとめるものです。

Q 「暮らしの便利帳」には、町の助成制度は記載されるのか。

A 他市町のそれを参考にしながら、助成制度や防災情報なども盛り込みたいと思います。

Q 児童館読書活動活性化事業とは、どのようなものか。

A 町内3つの児童館に合わせて530冊の図書を購入します。また、一定期間をおいて順次、図書をローテーションするよう計画しています。

Q 石川県・北信越中学校体育大会の出場者は。

A 県大会へは卓球9名、剣道7名、バレーボールチーム、水泳1名、新体操1名、陸上11名です。北信越大会には卓球9名、剣道7名、陸上7名が出場しています。

Q 川北温泉の源泉ポンプ交換のサイクルは。

A 以前は2年ほどで交換していましたが、最近ではポンプの性能が向上し、交換のサイクルが5年ほどとなっています。

## 決算審査会

Q 体育施設使用料について、町内外の利用割合や利用形態などは。

A 町民は無料です。町外の利用者による使用料となります。利用形態については、体育館フロアーやサンアリーナのテニスコートを使用するといった一般的な施設利用となっています。

Q ひとり親家庭等奨学金については。

A 町独自の制度で、小・中・高校生を扶養している保護者に奨学金を出しており、小学生1人あたり2,000円/月、中学生1人あたり3,000円/月、高校生1人あたり4,000円/月となっています。

Q ひとり親家庭等奨学金は、貸与される奨学金なのか。

A 支給型(返済の必要のない)のものです。

Q 敬老の日記念品について、85歳以上と88歳(米寿)の方とは、記念品に違いはあるのか。

A 85歳以上の方は、皆さん同じ品物ですが、88歳(米寿)の方には、記念品に加えて、お祝い電報を添えて送っています。

Q 特色ある学校づくり推進事業交付金とは。

A 各学校独自の特色ある取り組みで、主に1丁関係教材の購入や研究を行っています。

Q 小中学校のICT活動については。

A 授業でタブレット端末を用いた活用法などについて研究しています。

Q オンラインスピーキングトレーニングについては。

A 小学校6年生と中学校2年生が取組んでおり、2回/年行っています。

学習方法については、小学生がグループ単位、中学生は個人単位で行われています。



NEXT

町政を問う (いっぱん質問)

# 町政を問う！

9月議会定例会  
一般質問

地域防災計画の見直し内容は

総務課長

現在、見直し中

特設公衆電話の設置は

総務課長

今後、検討する



山村秀俊 議員

**Q** 町内循環バスや、代替交通手段、運転免許証の自主返納者への支援制度など「生活の足」に関するアンケート調査の実施について、町当局の考えは。

**A** 町長

町では、他市町のようにコミュニティバスを民間バス会社に委託した場合に、初期費用、ランニングコストなど、経費はどれくらいかかるのか、また、福祉バスの巡回を拡張した場合、法的にどうなるのか石川運輸支局に出向いて、

指導や助言を受けています。その他、いくつかの自治体のコミュニティバスやデマンドタクシーなどの運行について調査し、研究しました。

お尋ねのアンケート調査についてですが、平成28年3月に「総合戦略」や「基本構想」を策定した際にアンケートを実施しており、その後の有識者会議でも色々な意見を頂いていることから、実施は考えてはいません。

現在、町では福祉バスを充実・発展させた「巡回バスの運行」などに向け、色々と検討を重ねています。

**Q** 現在、「地域防災計画の見直し」をされているとのことですが、その「見直し」とは、どのような内容を想定されているのか。

**A** 総務課長

主な内容は、国土交通省の「手取川水系の洪水浸水想定区域」見直しに伴い、「町のハザードマップ」や「要配慮者避難支援」そして「指定避難所」に関することなどを検討しています。

更に、川北町は全域が浸水想定区域内に含まれることから、近隣の市への広域避難の検討も考えています。

また、その他の内容についても、現在、見直し中です。

**Q** 川北町において、想定外の災害の発生に備えて通信手段を確保し、避難者の安否確認等に役立てるための「特設公衆電話の設置」について、町当局の考えは。

**A** 総務課長

県内の状況は4市3町で、58箇所・64台の設置がありました。

現在、町では小・中学校をはじめ避難所及び福祉避難所、14箇所を指定しています。

近年は、携帯電話が普及していますが、災害時には、つながりにくくなるのではないかと思います。

その様な時に優先的につながる「特設公衆電話」は、有効な連絡手段の一つであると考えており、今後、検討します。

## アンケート調査の実施は

町長 考えていない

# 総合防災訓練の進捗状況は

## 町 長 現実に即した訓練を



森 作治 議員

【Q】 本年は「観測史上1位」「数十年に一度」「記録的」という言葉が連日のように報道され、もはや「異常気象」が「日本の気候」になりつつあるように感じます。

さて、一昨年、私からの総合防災訓練の進捗状況についての質問に、町長は「地区の防災組織、関係機関などと協議をしながら、綿密に計画を進めたい。」と答弁されています。

### A 町長

地区の防災組織と町が連携し、災害発生時の連絡網の確認や避難所での集団行動など、直接、住民の安全につながる現実に即した訓練が、最も重要だと思っています。

今年度は、町職員と地区とが連携し、避難所の受付や連絡体制の確認などの訓練を計画しており、現在、1地区が町と連携した防災訓練を希望しています。



完成はしたもの・・・

## 避難所設置訓練は

### 町 長 安全に密着した訓練を

※

【Q】 内閣府から「スフィア基準」を参考にした「避難所運営ガイドライン」には、平時において避難所運営体制を確立すべきと述べています。

川北町においても「避難所運営ガイドライン」に基づいた避難所設置訓練を行う考えはあるのか。

### A 町長

避難所の設置訓練とその運営については、国や県の指針に基づいた「川北町避難所運営マニュアル」を作成し、それに基づいた訓練にしたいと考えています。

各避難所には、運営のための各種備品が、配備されていますので、いつでも活用できます。

これからは、各地区と連携を深めながら、町民の安全に密着した訓練を実施します。

### ※スフィア基準

災害や紛争などの被災者すべてに対する人道支援活動を行う各種機関や個人が、被災当事者であるという意識をもって現場で守るべき最低基準の通称であり、人間の存続のために必要不可欠な4つの要素<sup>①</sup>では、人間が生命を維持するために必要最小限な水の供給量、食糧の栄養価、居留地内のトイレの設置基準や数、また避難所の一人あたりの最小面積や保健サービスの概要などが具体的に紹介されています。

# 新しい通学路の舗装は

## 町 長 必要な整備を確実に



坂井 毅 議員

**Q** 加賀海浜産業道路が、町道中島く橋新線に接続する計画に伴い、従来の通学路に変わり、新たに橋新地区から橋地区までの農道が通学路となり、その農道から県道の横断は地下道となる計画です。子供達の安全性を考慮し、新しい通学路（農道）も舗装出来ないか。

**A** 町長

通学路舗装については、今後、道路整備事業の進捗状況に合わせ、通学児童の安全性を確保するため、必要な整備を確実に実施します。

防災士を集めた

町全体の研修は

総務課長

活動事例報告会を開催

**Q** 各地区の防災士を集めた町全体の研修などを行う事が、町全体の防災力を高めるためにも必要だと思いますが、町当局の考えは。

**A** 総務課長

防災士の研修等については、町では毎年、防災士を含めた各地区の代表者の方により、地区の自主防災活動事例報告会を開催しています。その際に、県の防災アドバイザーによる講演も実施しています。

また、防災士の方には、県主催のスキルアップ研修への参加を呼びかけ、防災士としての技術向上にも努めて頂いています。

**再Q** これからは、防災士の研修を兼ねた町と地域との避難訓練などの積み重ねが重要かと思われませんが、町当局の考えは。

**再A** 総務課長

町としても十分、検討・協議をしていきたいと考えています。

県道4車線化は

土木課長

積極的に進める

**Q** 県道4車線化については、毎年、県に対し早期完成を要望しているところですが、進捗状況は思わしくないようです。

来年3月には、東部工業団地の造成が完成する予定であり、企業の進出を促進する為にも、町当局の考えは。

**A** 土木課長

現在も、県と町が地権者に対して、再三訪問を重ね、話し合いの機会を設けるよう鋭意

努力していますが、応じてもらえないのが現状です。

町民のみならず、日々、通行されるドライバーの方の利便性を阻害している現状を見ますと、早期の供用は誰もが思う事です。

今後も、県と連携しながら一日も早い用地取得に向け、積極的に進めます。

**再Q** 国道8号線までは、何としてでも4車線化を実現するよう町執行部と地権者との用地買収交渉を継続していただきたいが、町当局の考えは。

**再A** 土木課長

現在、県では4車線の必要化に向けて、再度、交通量の調査を実施しています。

また、それにあわせて町も、東部工業団地の交通量の調査情報を提供しています。

これを踏まえて、更に事業中区間が延伸できるよう、県と町が協力していきたいと考えています。

# 議 会 傍 聴 記

西 市造氏（橘）



今回嬉しかったことがある。6月議会から取り入れられた質問形式である「分割方式」が、ようやく実を結んだと思ったからである。

町当局の答弁内容いかんによっては、再質問も辞さないという議員さんの強い思いや意志が伝わってきた。

また、答弁の一つ一つにコメントや感想が添えられ、答弁内容をベースにし、より深化した「再質問」がなされるなど、議会が文字通り「討論」の場になってきているようであり、私は密かに傍聴席より大きな拍手を送ったものである。

もう一つ特記すべきこと、それは3人の議員さんが、同一テーマ（減災）で質問されたことである。同一会期中という点では初めてかもしれないが、一人一人の個性が生かされ、異なった切り口でテーマに迫っているため、対策が多面的にとらえられ、いろいろと考えさせられた。この一年、複数回質問される議員さんが増えてきたことや、今回も以前の答弁を踏まえた質問もあり、議論の積み上げを感じさせる画期的な議会であった。

困難な、いや一見不可能とさえ思える課題をあえて質問されているが、最近の当局の答弁も、前向きに「検討する」という言葉が多く、その真摯な対応を心強く思っている。

「川北町、うらやましいワ。」と他市町の友人に言われるたびに顔がほころぶ。これは、町当局や議員の皆さんのお陰であることは言うまでもないが、私達、町民一人一人のスタンスも、今問われている気がしてならない。

## 視 察

北陸新幹線高架橋工事現場を視察

北陸新幹線対策特別委員会

9月7日（金）、白山市源兵島地内において、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社 小松鉄道建設所 長である福山達雄氏と同所担当副所長の勢田裕之氏を講師に迎え、視察研修会が開催されました。

「北陸新幹線建設工事とこれから」と題し、工事の内容や今後の見通しなどの説明を受け、質疑応答を通じて、建設工事の規模や工程などを確認しました。

北陸新幹線対策特別委員長

井波秀俊



## 議会議長杯 グラウンドゴルフ大会

日時：10月6日（土） 9：00

場所：町グラウンドゴルフ場



## 川北町選手団を応援 石川県民体育大会



8月11日（土）、能登地区を主会場として第70回石川県民体育大会（夏季大会）が開催されました。

輪島市文化会館での開会式終了後、各種目会場で川北町選手への激励と応援が行われました。

選手・役員そして大会関係者の皆さん、暑い中での熱戦、お疲れさまでした。

## ～議会の役割と権限を検証～ 議長・副議長・委員長研修会

8月8日（水）、志賀町役場において、全国町村議会議長会議事調査部の荒井幸弘氏を講師に迎え、「地方議会の役割と権限」と題して、標記研修会が開催されました。



## ～どうなる？これからの政治～ 議会議員・監査委員合同研修会

8月28日（火）、津幡町文化会館シグナスにおいて、政治評論家の有馬晴海氏を講師に迎え、「舞台裏から見た政治とこれからの政治展望」と題して、標記研修会が開催されました。



# 修 もつと伝わる議会広報紙に

広報編集特別委員会

○町村議会広報研修会に参加

10月9日(火)、「読み手に伝わる文章の書き方」と題して講習を受けました。

書き手の意識とその矛盾として、読み手の存在を忘れたり、思い込み、独りよがりな表現など、例題を交えながらの説明に「なるほど」とうなずくばかりでした。今後の文章作成の参考になりました。

引き続き「デザインの力で、もつと伝わる議会広報紙に」と題して、伝わるデザインの具体的な説



明を受けました。

さすが、アートディレクターともなると、読み手目線を考え、細かいところにセンスの良さを感じるばかりでした。

「柔軟な発想がないと、硬い頭では生まれないなあ」と感じました。

最後に「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」と題して、埼玉県寄居町議会と山形県川西町議会より発行されている広報紙を見本として、解説を聞かせてもらいました。

○読売新聞社で

「新聞の読み方」を受講

10月10日(水)、「新聞の読み方」

について構成内容や演習問題をはさみながらの講習を受けました。

また、当町の「議会だより」を例にとり、伝わりやすいことばに直したり、注意点などのアドバイスをいただきました。

広報編集特別委員長 山村秀俊



## 視 察

地方の定住促進を検証

石川県町村議会議長会



10月12日(金)、新潟県湯沢町において、湯沢町企画制作課長の富沢雅文氏を講師に迎え、「U・J・タータン、定住促進」について研修しました。

当日は、石川県内の町議会議長が一同に会し、細部にわたる質疑応答が行われ、今後の地方の在り方についてヒントを得ることができました。

NEXT

みんなの広場など

# みんなの広場

## 森谷さん ご家族（下先出）

森谷 拓末さん・裕美さん  
みなと 湊さん(5歳)



Q 以前のお住まいは？

A 白山市です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 周りの人が優しいです。

Q 町への要望などは？

A 遊具のある公園が、近くにあるといいなと思います。

取材者：山村秀俊

## 中村さん ご家族（サンハイム三反田）

中村 和弘さん・裕子さん  
ともや 友哉さん(9歳)・はるま 遙真さん(7歳)・  
そうた 壮汰さん(4歳)



Q 以前のお住まいは？

A 加賀市です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 子供を育てる環境が充実している町だと思います。

Q 町への要望などは？

A 住宅分譲地が、もっと増えると嬉しいです。

取材者：西田時雄

お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111



井波 秀俊 記

企業では、技術や経営を見直し常に新しいことにチャレンジし改善を繰り返していかなくては生き残れない。議会や行政も同じ。町民のために現状に満足せず、常に「カイゼン」を胸に、議論し実行していると思う。

## 編集後記

町議会では議会改革に着手している。

幾度も議論を重ね、他町へも足を運び議会改革について研究検討を重ねてきた。

一般質問での分割質問方式の導入、各種団体との意見交換会など、本年度より新たな取り組みをはじめた。

議会を傍聴しましょう◆

次回の定例会は12月です。お気軽にお越しください。